

【別紙様式】

平成28年度 津山市立一宮小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	国語Aと算数Bについては県平均とほとんど変わらない。算数Aについては県平均より正答率が高いが「数量関係」と「知識・理解」の領域に課題が見られる。国語Bについては県平均を若干下回っている。国語については、A・Bともに「読む能力」と「話す・聞く」の領域に課題が見られる。	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全体の取組	○ 問題データベースを授業や朝学習で活用する。また、単元テストの後、時間の後半に適用問題を取り上げて実施する。	B	○ 朝学習や補充学習で問題データベースに取り組む。 ○ 前学年復習として4月に適用問題に全学級で取り組む。 ○ A問題については全国平均以上、B問題については県平均以上にする。
①	○ 授業展開のスタイルを統一し、引き続き取り組む。 ・つかむ → 見通しをもつ → 自分で考える → 交流する → 深める → 振り返る ※ 4月当初に校内研修で確認	A	○ 授業スタイルの中でも特に導入を工夫し、児童が意欲や見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。 （全員参加の授業づくり） ○ 各教科の授業内容が「よくわかる」「各教科の勉強が好き」と回答する児童の割合を全国平均以上にする。
②	○ 授業の中に児童が主体となる探求の場を設けることで、意欲的に学習に取り組むことができるようにする。 （考える時間の確保、話し合いの場の設定（ペア・小グループ・全体）、まとめの時間の確保とまとめ方の指導）	B	○ 話し合い活動を通じて「考えを深めたり広げたりすることができる」児童の割合を全国平均以上にする。 ○ 授業の中で、自分の考えをもつための場や時間を確保したり、自分の思いや考え方などを表現する場面を多く設定したりする。
③	○ 北陵中ブロックでの連携による、学習習慣と学習規律の定着を進める。（チャイム着席・あいさつ・掃除）	B	○ 生活目標と関連づけて、一貫した指導を行う。 （アンケート調査で90%以上） ○ 学校便りや学年便り、学級懇談等で保護者への啓発発動を行う。

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」